

人の心、歴史を感じる縁

～歴史を学び、世界の人々とふれあい、新たな創造へ～

おおぐろの森中学校の筋書きのないドラマの第二章が幕開けとなり、その一幕をノンフィクション、ドキュメンタリーで刻む、世界的にも有名な古都である奈良、京都への旅立ちです。

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という格言があります。これはドイツの名宰相であるビスマルクの言葉です。愚かな者は経験からしか学ばない。経験からだけに学ぶことは、固執した考えに留まり、新たな発想や時代の流れを掴んだ行動力は生まれませんと思います。しかし、賢い者は自分が経験できないことでも先人たちが経験したこと、すなわち歴史を学ぶことで、たくさんの経験を身に付け、新たな創造性を生むことができるということだと解釈できます。先人たちは多くの失敗と成功を繰り返し、その経験の中から歴史という形で後世の者に貴重な経験談を残してくれています。奈良、京都は先人が残した歴史の宝庫です。このチャンスを自らの感性や方法で生かしてください。

また、今回的一幕、3日目の班別行動では様々な国の留学生と古都をめぐる企画もあります。多様な人種の方々と日本の歴史に触れることができる、こんな素晴らしい企画は私も初めてです。ウクライナからの留学生もいらっしやると聞いています。英語や身振り手振りでコミュニケーションを図りながら、歴史を感じ、人の心を感じる経験は皆さんの心の栄養になることでしょう。今からワクワク、楽しさがこみ上げてきます。

『「縁陣」～団結・縁・エンジン～』、皆さんが考えたスローガンは今回のドラマにピッタリですね。

前川 秀幸